

## キャリアと組織の心理学

## Psychology of career and organization

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	坂本 理郎（現代社会学部現代社会学科准教授）
単位数	2単位
最大授業定員	54名
開講学期	前期1時限（10:50～12:20） 金曜日（4月13日～7月20日、5月4日（みどりの日）は授業実施）
成績評価	出席、事前・事後課題の提出、授業中発表等、授業期間中の成果をもって、総合評価を行う。
テキスト	特になし
参考文献	特になし
授業以外の学習方法	事前または事後の課題の提出を求める場合があります。
その他の特記事項	特になし
講義概要	本講義では、組織とキャリアに関する重要な理論をいくつか取り上げ、自分自身や他者への実用を意識しながら、その概要を学びます。組織に関する心理学を学ぶことは、いずれ関わるビジネスの場ではもちろん、アルバイトやクラブでの人間関係やチームワークに対しても、役立てることが期待できます。また、キャリアに関する心理学を学ぶことは、就職活動や自身の未来を考える指針を得るうえで有効です。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション（講義の内容と進め方）</li> <li>2. 良いチームワークとは</li> <li>3. 集団意思決定に潜むワナ</li> <li>4. モチベーションを上げるには</li> <li>5. リーダーシップ</li> <li>6. 採用と面接の心理学</li> <li>7. キャリア発達の心理学（スーパーの理論）</li> <li>8. 転機の乗り越え方（シュロスバーグの理論）</li> <li>9. 性格と職業のマッチング（ホルンドの理論）</li> <li>10. ポジティブ思考のキャリア形成（計画された偶然性理論&amp;SCCT）</li> <li>11. 組織と個人のニーズの調和（シャインの理論）</li> <li>12. 新しいキャリアのあり方（ホールの理論）</li> <li>13. 物語的真実としてのキャリア（サビカスの理論）</li> <li>14. 事例検討（純子さんのケース）</li> <li>15. 最終まとめ</li> </ol>